

学校だより

潮風

令和2年度
第4号
令和2年
6月30日

教育目標 「伸びる喜びを見つけよう」
学ぶよろこび (知) 助け合うよろこび (徳) やりぬくよろこび (体)



岩内町立岩内西小学校 TEL 62-0263

<http://www.town.iwanai.hokkaido.jp/nishisyo/>

子どもたちを伸ばすために



岩内西小学校長 佐古岡 香

学校再開に伴い通常通りの日課となつて一か月が経とうとしています。「おはようございます」の挨拶で始まる毎日が続いていることをうれしく思うとともに、学校は、子どもが通つてこそその学校であると実感しています。

毎朝、登校時の子どもたちの姿は様々です。友達と競うように坂道を駆け上がってくる子がいます。「あのね、昨日ね・・・」と前日の出来事をお話してくれる子もいます。「見て見て！」と手のひらにのせたダンゴムシを見せてくれる子もいます。「まだ後ろの方に小さい子がいます」と、自分より後に登校してくる子がいることを教えてくれる子もいます。明るく素直な子どもたちの様子を目にし、「よし、今日も一日始まるぞ」と私たち教職員はやる気モードに入っていきます。

さて、この一か月は、中断していた学習を再スタートするだけでなく、延期になっていた行事や活動も行ってきました。交通安全教室では、横断歩道の渡り方や自転車の乗り方を通して交通安全について学びました。また、地震とそれに伴う津波を想定した避難訓練では、改めて防災について考えました。どちらも、大切な命を守るために「自分ができること」を確認しています。また、全校朝会では、岩内西小学校としての新しい生活様式を示し、一人ひとりが「自分でできること」として実践するように伝えています。

5、6年生による児童会活動が本格的にスタートし、各専門委員会で計画した活動を推し進めています。校内には、学校での新しい生活様式をよびかけるポスターが掲示されています。給食時には、みんなが楽しくなるような音楽を放送してくれています。「自分たちでよりよい学校にしていこう」と頑張っている姿を頼もしく思います。



私たち大人は、子どもの短所に目が行き、「うちの子(どもたち)は、〇〇ができない」などと否定的な言い方をしてしまいがちです。しかし、どの子にも「よさ」があり「成長」があります。大人はそれに気づき、認めてあげたいと思うのです。1年生が、育てているアサガオを見て「先生、アサガオ伸びてるよ!」とほんのささいな変化を伝えてくるように、私たち教職員も、その子の、その子たちの「伸び」を認め、「△△ちゃん、〇〇ができていますね」「みんな、

〇〇ができていて素晴らしいよ」と言葉で価値づけていきたいと思ひます。そして、そんな「よさ」や「成長」の気づきを保護者や地域の皆さんと分かち合えたら、さらに「よさ」が広がり伸びていくように思ひます。

7月は、個人懇談と今年度1回目の学校運営協議会が行われます。個人懇談は保護者と、学校運営協議会は地域の方々と、本校の子どもたちについて情報を共有し共に目指す方向を話し合ひます。子どもたちのために、大人が手を携えて支えていく、そんな1学期の終わりにしていきたいと思ひます。